

一般社団法人北海道CGC みどりところの基金へ寄付実施のご報告

平素は当社の営業活動につきまして、格段のご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

アークスグループは2008年度より、北海道内グループ各社のレジ袋販売金額をすべて、一般社団法人北海道CGC みどりところの基金に寄付しておりますが、2019年度下半期分につきまして2020年3月に約3,000万円の寄付を実施いたしますのでお知らせいたします。

当該基金は、環境保全や社会福祉、社会貢献を目的とする事業に財政的援助を行い、豊かな自然環境の形成と潤いと活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としており、アークスグループは2008年12月の基金設立から総額で約6億5,000万円の寄付を実施してまいりました。

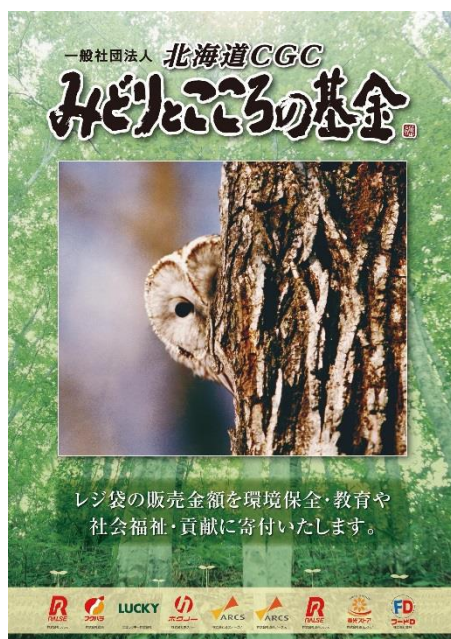
本取組みは、昨今定着してきているSDGsの考え方にも通じており、今後も地域社会を担う企業として環境に配慮した事業活動を積極的に進めてまいります。

記

1. 寄付先

一般社団法人 北海道CGC みどりところの基金（理事長：横山 清）

- ◆ 環境保全、社会福祉に取り組む事業に対して、幅広い助成を行っており、基金直轄事業として「森づくり事業」や、北海道内の母子福祉団体と連携し「奨学金給付事業」を実施しております。（ホームページ：<http://www.cgchokkaido.co.jp/fund/>）



基金の助成事業

<森づくり事業（北海道CGCの森）>

- 場所 支笏洞爺国立公園内 国有林
- 規模 17.82ヘクタール(札幌ドーム約5個分の面積)
東西約600m・南北約300mのほぼ四角形
- 内容 2009年に開始した基金の直轄事業です。北海道森林ボランティア協会から技術的協力や助言を受け、針葉樹や広葉樹の植樹と天然更新（自生して次世代の森林が育つこと）の促進を合わせて行い、多様な樹木が枝を広げた自然林に近い森づくりを目指しました。2015年に植樹等の作業を完了し、その後の育林管理事業の助成を行っております。

<森づくり事業（CGC鳥柵舞の森）>

- 場所 北海道千歳市近郊 国有林
- 規模 22.72ヘクタール（札幌ドーム約6個分の面積）
- 内容 2011年に開始した基金の直轄事業です。北海道森林ボランティア協会から技術的協力や助言を受け、針葉樹や広葉樹の植樹と天然更新（自生して次世代の森林が育つこと）の促進を合わせて行い、多様な樹木が枝を広げた自然林に近い森づくりを目指しました。2018年に植樹等の作業を完了し、その後の育林管理事業の助成を行っております。



<奨学金給付事業>

- 内容 2016年より、社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会、公益社団法人札幌市母子寡婦福祉連合会と連携し、両団体を通じて経済的に支援を必要としている家庭の高校生等に、返却を要しない「給付型」の奨学金給付事業を実施しています。

2. 寄付額

アークスグループでは、北海道内で2008年から有料化を開始したレジ袋（大サイズ1枚3円、小サイズ1枚2円）の販売額の全額を同基金へ寄付しております。

2009年3月～2019年3月（10年間）の寄付額：約6億2,000万円

2019年度分寄付額：約6,000万円（予定）※

※2020年3月31日に2019年度下半期分として約3,000万円を寄付予定

以上

この件に関する報道関係の方のお問い合わせ先
札幌市中央区南十三条西十一丁目2番32号
株式会社アークス 経営企画グループ ゼネラルマネジャー 谷 岳郎
マネジャー 三浦 恵美子
TEL：011（530）1000 FAX：011（530）1051